

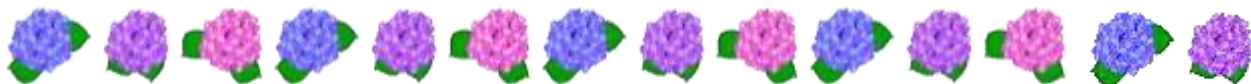
3年生学年だより

豊中市立第五中学校 2022年5月25日(水) No.7



がっきちゅうかん 1学期中間テスト ころひょう 講評

教科	テストコメント
国語	<p>・今までよりも「字が雑な人が多い」ということを一番に感じました。「い」「り」、「こ」「エ」「ユ」、「お」「よ」の書き分けや「が」などの濁点が丁寧に書けていない答案が自立しました。答案は「相手が見るもの」ですから、素早く丁寧に書くよう心がけましょう。</p> <p>・記述式の問題については、①50字程度であれば一文で書く。②「これは」などの指示語は使わない。③「～だし」「～けど」「～してる」などの「話し言葉」は使わない。④文末の処理の仕方「～こと。」「～考え。」「～から。」を厳守する。の4点を意識して書きましょう。</p> <p>・漢字の読みでは「丘陵」が「きょうりゅう(恐竜?)」や「きゅうりゅう(急流?)」、書きは「堤防」→×「提」、「粗末」→「未」、「捜す」→右側が「申」なのに「由」になっている間違いがとても多かったです。漢字の意味を考えながら覚えましょう。</p>
社会	<p>今回は、明治時代の重要な人物や明治維新、戦争にまつわる用語など、漢字で答える問題の出題が多いテストとなりました。なんとなく覚えていたり、何度も書いて練習していなかったりした人は漢字間違いが目立ったと思います。また、間違いに気づかずに覚えてしまっていた人もいます。</p> <p>今後のアドバイスとしては、授業プリントだけでなく、問題集や教科書など複数の教材を使って勉強しましょう。複数の教材で勉強することで間違いに気づくことができます。また同じ内容であっても角度を変えて学ぶことができるため、理解が深まります。そして、記述や並べ替えのような問題にも対応できる実力が身に付きます。次は実力テストに向けて、今後の勉強に活かしてください。</p>
数学	<p>3年生の計算や展開、2年生の箱ひげ図はかなりできていましたが、確率は勉強不足でテストを受けていた人が多かったように思えます。実力テストや受験では高い確率で出題されています。今回の問題で間違えたところはしっかり復習しておきましょう。次は実力テストです。去年の過去問を配りますが、1・2年の関数や図形をテスト前に定着させておこう!</p>



理科	<p>今回のテストでは、2年生の天気<small>ねんせい てんき</small>の復習<small>ふくしゅう</small>と3年生<small>ねんせい</small>の生殖<small>せいじく</small>や細胞分裂<small>さいぼうぶんれつ</small>のところが出題<small>しゅつだい</small>されました。基本的な内容<small>きほんてき ないよう</small>が多く、しっかり復習<small>おお</small>して頑張<small>がんば</small>った成果<small>せいから</small>が出ていました。勉強<small>べんきょう</small>への意識<small>いしき</small>が高<small>たか</small>くなった人<small>ひと</small>もいますが、まだまだ直前<small>ちよくぜん</small>にあせて「ここ出る？」と友達<small>ともだち</small>に聞いて、勉強<small>べんきょう</small>をする人も少<small>すく</small>くありません。テスト1週間前<small>しゅうかんまえ</small>にかかわらず、毎日<small>まいにち</small>の授業<small>じゅぎょう</small>でわからないところが見つかったら、遠慮<small>えんりょ</small>なく先生<small>せんせい</small>に聞いてください。友達<small>ともだち</small>でも構<small>かま</small>いません。わからないところ<small>ほろ</small>を放<small>はな</small>しておくのでなく、その日<small>ひ</small>の疑問<small>ぎもん</small>はその日<small>かいつ</small>に解決<small>かいけつ</small>するようにしましょう。次回のテストはイオンが範囲<small>はんい</small>にふくまれます。2年生で習<small>なら</small>った元素記号<small>げんそきごう</small>や化学式<small>かがくしき</small>を復習<small>ふくしゅう</small>しておきましょう。</p>
英語	<p>3年生<small>ねんせい</small>になり難易度<small>なんいど</small>も上がりましたが、正直<small>あ</small>勉強不足<small>しやうじきべんきやうふそく</small>を感じる人<small>かん</small>が少<small>すく</small>くありません。直前<small>ちよくぜん</small>になって単語<small>たんご</small>を必死<small>ひっし</small>に覚<small>おぼ</small>えている人<small>ひと</small>や提出物<small>ていしゅつぶつ</small>の完成<small>かんせい</small>だけに追<small>お</small>われている人<small>ひと</small>…。このままの勉強方法<small>べんきやうほうほう</small>では伸<small>の</small>びる可能性<small>かのうせい</small>はありません。</p> <p>定期テストにはこれまで<small>なら</small>習<small>た</small>った単語<small>たんご</small>などが複雑<small>ふくざつ</small>にからんで出題<small>しゅつだい</small>されます。テスト返却時<small>へんきやくじ</small>にも言<small>い</small>いましたが、新出文法<small>しんしゅつぶんぽう</small>を1、2年生の文法事項<small>ぶんぽうじこう</small>と合わせて、ミスなく解<small>と</small>くためにはた<small>た</small>くさんの練習<small>れんしゅう</small>が<small>ひつ</small>要<small>よう</small>です。「覚<small>おぼ</small>えたつもり」「書<small>か</small>けるつもり」ではなく、普段<small>ふだん</small>から継続<small>けいぞく</small>して英語<small>えいご</small>を書<small>か</small>いていく努力<small>どりよく</small>をしまし<small>し</small>ょう。また、まとまった量<small>りやう</small>の英文<small>えいぶん</small>を<small>よ</small>み、内容<small>ないよう</small>を理<small>り</small>解<small>かい</small>する問題<small>もんだい</small>も増<small>ふ</small>えていきますので、授業中<small>じゅぎやうちゆう</small>の時間<small>じかん</small>を<small>し</small>っかりと有<small>ゆう</small>効<small>こう</small>活用<small>かつよう</small>できる気持<small>きもち</small>を大切<small>たいせつ</small>にしてほしいと思<small>おも</small>います。</p>

